改正フロンシステム

－　取扱説明書　－

第 0.92 版
2015 年 5 月 22 日

東芝キヤリア株式会社

更新履歴

2015 年 05 月 22 日　第 1.0 版　新規作成

目次

１、目的

本説明書では東芝キヤリア株式会社様向け改正フロンシステム＜スマホ版＞の使用方法について記述します。
改正フロンシステムとは、フロン排出抑制法により業務用冷凍空調機器（第一種特定製品）の管理者が機器を使用・管理をする為のプログラムです。

２、概要

インターネット経由で本システムの URL へアクセスして利用します。
WindowsPC の他に Android、iPhone でも利用できます。

※想定利用者･･･本システム利用者は下記を想定しております。

■利用者１：　日本国内の業務用空調・要冷機器の所有者
　（本システムにて登録申請を行い利用 ID を発行します。）
■利用者２：　上記「利用者１」にビル、機器の管理を任されている方
　（利用 ID は利用者１にて発行します。）
■利用者３：　業務用空調・要冷機器の修理、定期点検を行う業者
　（利用 ID は利用者１、利用者２にて発行します。）
■利用者４：　簡易点検を行う方
　（清掃員、警備員等ビル運用業務に携わる方を想定）
　（利用 ID は利用者１、利用者２にて発行します。）
■利用者５：　東芝キヤリア社員
　（管理ツールから利用 ID を発行します。）

３、動作環境

WEB ブラウザ

Android、iPhone、iPad の台頭に伴い利用者所有の端末は Windows でない場合もあり、本システムでは下記のブラウザをサポートするものとします。

OS	WEBブラウザー
Windows	InternetExplorer10、11
	Google Chrome
Android	Google Chrome
iPhone	Safari

ネットワーク

常時接続回線でのみ利用可能

最低回線速度：

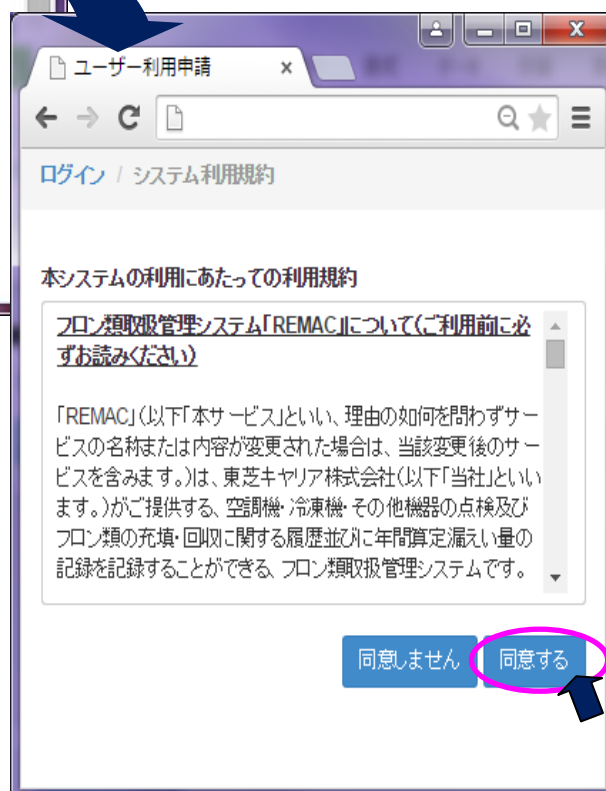
その他注意事項

４、ご利用前に

5、利用申請

ご利用いただく為には、利用申請が必要です。ここで行う利用申請は、管理者申請となります。
申請手順については以下に操作を説明します。

① ログイン画面より、「管理 ID」を選択し、［利用申請」ボタンを押します。

② 左図のような利用規約が表示されますので、申請を行うためには、［同意する］ﾎﾞﾀﾝを押します。
申請を中止する場合は、［同意しません］ﾎﾞﾀﾝをし、ログイン画面に戻ります。

③　ユーザー利用申請にて、以下項目の情報入力が必要となります。
※管理 ID、担当 ID、子 ID ともに申請項目は同じです。

(ア) 会社名　(必須入力)
(イ) 部署名
(ウ) 利用者名 (必須入力)
(エ) 郵便番号 (必須入力)
”-“ハイフンは有無可
(オ) 住所反映 (必須入力)
郵便番号を入力後、住所反映を押すと、郵便番号辞に登録されている住所が住所欄に表示されます。
(カ) 住所（上段）(必須入力)
都道府県を▼ボタンにて選択できます。
(キ) 住所（下段）(必須入力)
直接データ住所を入力します。
(ク) 電話番号（必須入力）
”-“ハイフンは有無可
(ケ) UserID (必須入力)

(コ) E メール (必須入力)
ログイン時に必要な ID が送られる先の E メールアドレスを登録します。
(サ) パスワード (必須入力)
ログイン時に必要なパスワードを入力します。
英数記号（半角）のみ可能

④　上記入力後、［登録］ボタンを押して登録します。

※ご利用頂きます ID がメールで届きますので、少々おまちください。

（画面はログイン画面に戻ります）

６、ID 管理「利用者一覧」

利用者の ID を管理します。

６－１、利用者一覧（ログイン：管理者 ID）

登録された管理者は、物件追加から機器の追加、点検まですべての機能を使用することができます。また管理者は、子会社の ID 発行・管理、業者の ID 発行・管理、簡易点検業者の ID 発行・管理を行うことができます。

① 画面右上の ボタンを押すと、ショートカットメニューが表示されますので、[メニュー－ID 管理］を押します。

② 利用者一覧画面が開きます。
以下の項目について説明します。

(ア) 会社名
管理会社の会社名を表示します。
(イ) 部署名
管理会社の部署名を表示します。
(ウ) 利用者名
管理会社の利用者名を表示します。
(エ) 電話番号
管理会社の電話番号を表示します。
(オ) 子 ID／業者 ID／簡易点検 ID の発行ボタン
子会社用の ID 発行、業者用の ID 発行、簡易点検用の ID 発行処理を行います。

③ 画面右上の で「物件一覧」を押すことで、物件一覧画面に戻ることができます。

６－２、子 ID の発行

(ク)

(ケ)

(コ)

(サ)

７、ID管理「子ID／業者／簡易点検」

8、ログインについて

8－1、ログイン方法

① ログイン画面からログインします。

(ア) ID
※利用申請後、メールで届きましたご利用者 ID を入力します。

(イ) Password
利用申請を行った際に登録しましたパスワードを入力します。

② 上記項目を入力後、[ログイン]ﾎﾞﾀﾝを押して、ログインします。

③ TOP 画面として物件一覧画面が表示されます。
⇒９－１、物件一覧　参照

８－２、パスワードを忘れた場合

① ログイン時にパスワードを忘れてしまった場合は、[パスワードを忘れた場合]ﾎﾞﾀﾝを押します

② 利用者 ID、E-mail アドレスの入力を求められますので、入力後、[メール送信]ﾎﾞﾀﾝを押します。
※パスワードが入力された E-mail アドレスに送信されますので、ご確認ください。
中止する場合は、[キャンセル] ﾎﾞﾀﾝを押し、ログイン画面に戻ります。

③ 届いたメールからパスワードのご確認後、ログイン情報［ID］［Password］を入力してログインしてください。

８－３、ＴＯＰ画面および画面構成

9、物件管理

9－1、物件一覧画面について

物件一覧画面は、物件の検索や物件一覧の表示を行います。

① ［物件一覧］画面で、以下項目の空欄、または部分検索および絞り込みで検索ができます。

（ア）物件名　（部分一致可能）
（イ）住所　　（部分一致可能）

※入力項目を［空欄］で検索する場合、管理者が登録した全ての物件が一覧表示されます。

※(ア)と(イ)を組み合わせて検索することで、絞り込み検索が可能です。

② 上記項目の入力後、［検索］ボタンを押します。

③ 検索結果が［物件追加］ボタンの下に、一覧表示されます。

空欄の場合に登録物件が一覧表示されます

９－２、物件の新規登録
物件の新規登録を行います。

① 物件一覧から、［物件追加］ボタンを押してください。
② 物件登録画面が表示されます。
③ ユーザー利用申請にて、以下項目に情報を入力します。

(ア) 施設名称（必須入力）
(イ) 郵便番号
　”-“ハイフンは有無可
(ウ) 住所反映ボタン
　郵便番号を入力後、住所反映を押すと、郵便番号辞書に登録されている住所が住所欄に表示されます。
(エ) 住所（上段）（必須入力）
　都道府県を▼ボタンにて選択できます。
(オ) 住所（下段）
(カ) 電話番号
　” - “ハイフンは有無可

④ 上記入力後、［登録］ボタンを押して登録します。
⑤ 物件一覧に追加されます。
［物件追加］ボタンの下に表示されます。

９－３、物件修正

登録した物件の修正を行います。

① 物件一覧から修正したい物件を検索し、物件名を押します。
② 物件メニュー画面になり、選択物件の詳細が表示されます。
③ ［物件修正］ボタンを押して、必要なデータの修正をします。
④ 修正後、［登録］ボタンを押して更新されます。画面は物件メニューに移ります。

9－4、物件メニュー画面

物件メニュー構成について説明します。

(ア) 管理者
　物件の管理者名が表示されます。

(イ) 物件名
　物件名が表示されます。

(ウ) 住　所
　物件の住所が表示されます。

(エ) 電話番号
　物件の電話番号が表示されます。

(オ) ［物件修正］ボタン
　物件の修正を行います。
　物件修正画面に移動します。

(カ) 算定漏えい量
　機器ごとの漏えい量の合算値が表示されます。

(キ) ［系統一覧］ボタン
　系統一覧画面に移動します。
　系統一覧の確認や系統の追加、系統に紐づく設備機器の確認や追加ができます。

(ク) ［簡易点検］ボタン
　登録機器について、簡易点検を行います。
　簡易点検画面に移動します。

(ケ) ［点検・修理履歴］ボタン
　点検・修理履歴画面に移動します。

(コ) 簡易点検履歴
　簡易点検の日付と機器の履歴を表示します。

(サ) 定期点検履歴
　定期点検の日付と機器の履歴を表示します。

９－５、系統一覧画面

選択された物件に紐づく設置機器の系統一覧を表示します。また、系統の追加、修正を行うための入り口となります。

① 物件一覧から物件を選択し、[系統一覧]ﾎﾞﾀﾝを押すと、系統一覧画面が開きます。物件に紐づいている系統一覧が確認できます。

② 系統一覧画面の構成は以下の通りです。

(ア) 管理者
物件の管理者名が表示されます。

(イ) 物件名
物件名が表示されます。

(ウ) 住　所
物件の住所が表示されます。

(エ) ［ファイルを選択］ﾎﾞﾀﾝ
機器一覧のインポートをするためのファイル選択になります。
画面がポップアップされますのでファイルを選択してください。

(オ) ［機器一覧インポート］ﾎﾞﾀﾝ
選択したファイルより、機器一覧のインポートを行います。

(カ) 算定漏えい量
機器ごとの漏えい量の合算値が表示されます。

(キ) ［系統追加］ﾎﾞﾀﾝ
新しく系統の追加を行います。
ボタンをおすことにより、系統追加画面に移動します。

(ク) 系統件数
物件に登録されている系統件数を表示します。

(ケ) 系統一覧
物件に登録されている系統が一覧表示されます。
系統名を押すと、選択された系統に紐づく機器一覧が表示されます。

9－6、系統追加

選択された物件に紐づく設置機器の系統を追加します。

① 物件一覧から物件を選択し、［系統一覧］ボタンを押して系統一覧画面を開きます。

② ［系統追加］ボタンを押し、系統登録画面に移動します。

③ （ア）の系統名を入力して［登録］ボタンを押します。

④ 登録した系統名が、系統一覧上に（イ）のように追加され、一覧表示されます。

9－7、系統名の修正

登録済の系統名について、名称変更を行います。

① 物件一覧から物件を選択し、[系統一覧] ボタンを押して系統一覧画面を開きます。

② 名称修正したい系統の系統名を押し、機器一覧に移動します。

③ 修正したい系統名を押し、系統名を押します。
［登録］ボタンを押して登録します。

９－８、設備機器一覧画面

選択された物件に紐づく設備機器の一覧を表示します。

① 物件一覧から物件を選択し、［系統一覧］ボタンを押して系統一覧画面を開きます。
② 系統一覧画面（ア）から、編集したい系統を選択し、選択された系統に紐づく設備機器一覧が表示さます。
③ 機器一覧の項目を説明します。

（ア）管理者
　　物件の管理者名が表示されます。

（イ）物件名
　　物件名が表示されます。

（ウ）住　所
　　物件の住所が表示されます。

（エ）系統名
　　選択されている系統名が表示されます。

（オ）［機器追加］ボタン
　　選択されている系統に、新たに機器を追加する場合に押します。
　　機器を追加することができます。

（カ）設備機器一覧
　　選択されている系統に紐づく設備機器が一覧で表示されます。
　　機器を選択すると、登録内容が表示されます。

９－９、設備機器の新規登録

設備機器の新規登録を行います。

① 物件一覧から物件を選択し、［系統一覧］ボタンを押して系統一覧画面を開きます。

② 系統一覧画面から選択したい系統を押します。機器一覧画面が開き、［機器追加］ボタンを押して機器登録画面に移動します。

③ 入力項目について、以下に説明します。

(ア) 種別（必須入力となります）
　　［種別選択］ボタンより種別を選択します。

(イ) 形名（必須入力となります）
　　形名を入力してください。

(ウ) 製造番号
　　製造番号を入力してください。

(エ) メーカー名（必須入力となります）
　　メーカー名を▼で選択してください。

(オ) 設置年月日
　　設置年月日を YYYY/MM/DD で入力します。

(カ) 圧縮機電動機出力
　　圧縮機出力があれば、出力数を入力します。

(キ) 使用冷媒
　　使用している冷媒の種類を▼で選択します。

(ク) 冷媒初期出荷時充填量
　　初期出荷時に充填量があれば入力します。

(ケ) 設置時追加量
　　機器設置時の冷媒追加量があれば入力します。

(コ) 簡易点検☑
　　簡易点検を行う場合は☑をします。

(サ) 定期点検
　　定期点検を行う場合は１年か３年かを選択します。

(シ) 機器番号
　　機器番号があれば入力します。

(ス) 建屋
　　建屋があれば入力します。

(セ) フロア名
　　フロアがあれば入力します。

(ソ) テナント名
　　テナントがあれば入力します。

(タ) エリア名
　　エリアがあれば入力します。

(チ) 備　考
　　必要であれば、備考入力します。

④ 上記項目入力して、［登録］ボタンを押し、登録しますと機器一覧に戻ります。

９－１０、設備機器の修正

設備機器の修正を行います。

① 物件一覧から物件を選択し、［系統一覧］ボタンを押します。

② 系統一覧画面が開きますので、選択したい系統を押します。

③ 機器一覧画面が開きますので、編集したい機器を押して、修正を行います。

④ 修正必要項目を修正していただき、［登録］ボタンを押し、登録しますと機器一覧に戻ります。

９－１１、機器の種別

機器登録で種別を設定します。

① 機器登録または機器修正で、設備機器登録の画面で設定します。

② ［種別］ボタンを押します。

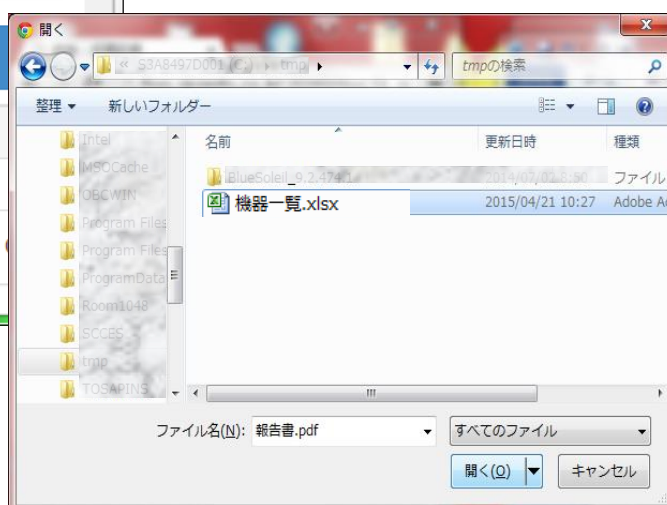
③ 種別がポップアップされますので、一覧から選びます。

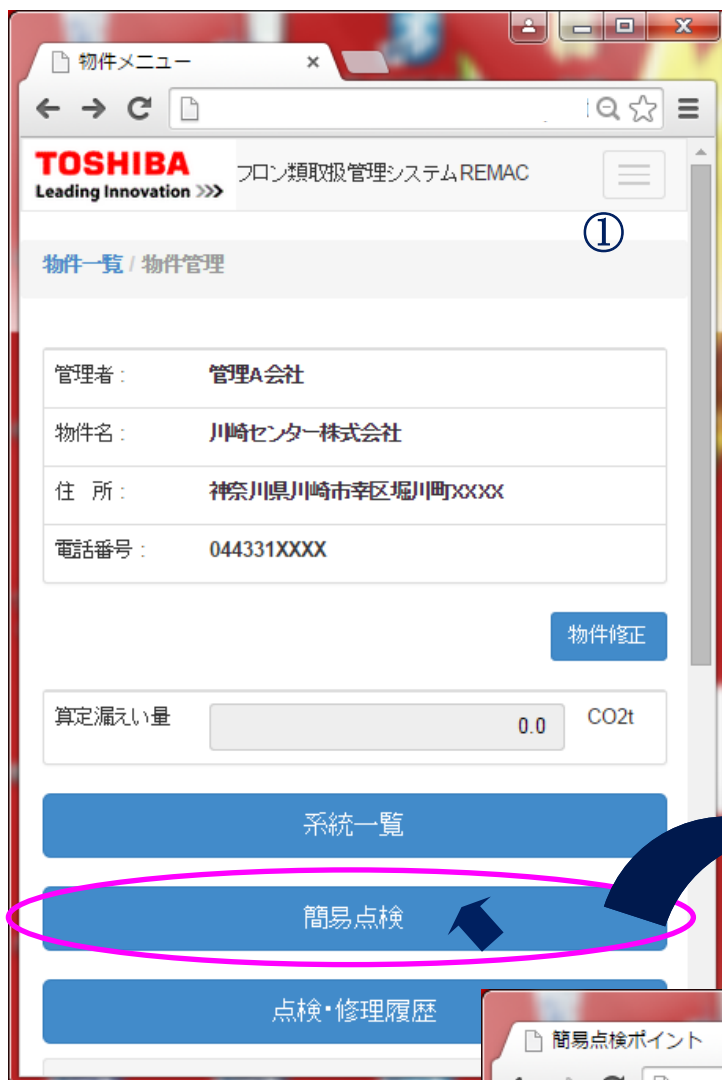
④ 選択された種別が設定されます。

９－１２、設置機器一覧のインポート方法

Excel ファイルから設置機器一覧の情報を取込みます。

① 系統一覧から［ファイルを選択］ボタンを押し、ファイルを参照して選択します。

② ［機器一覧インポート］ボタンを押して、選択された Excel ファイルから機器一覧のデータを取り込みます。

９－１３、簡易点検ポイント

点検ポイントと点検方法について説明します。

① 物件一覧から点検したい物件を押し、物件メニュー画面を開きます。
② ［簡易点検］ボタンを押します。
③ 簡易点検ポイントが表示されますので、点検内容を確認していただき、［点検へ］ボタンを押し、簡易点検一覧を開きます。

⇒９－１４、簡易点検一覧参照

９－１４、簡易点検一覧画面

簡易点検有無の確認ができます。また、系統・建屋・フロア・テナント・エリアごとの一覧を表示できます。

① 物件一覧から物件を選択し、物件メニューから［簡易点検］ボタンを押します。

② 点検ポイントを確認後、［点検へ］ボタンを押すと、簡易点検一覧画面が表示されます。

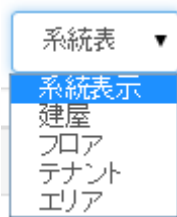
③ 画面の構成は以下の通りです。

(ア) 管理者
　物件の管理者名が表示されます。

(イ) 物件名
　物件名が表示されます。

(ウ) 住　所
　物件の住所が表示されます。

(エ) ［点検のポイント］
　簡易点検内容を表示します。

(オ) 表示グループ選択
- ・［系統表示］
  系統ごとに簡易点検を一覧を表示します。（左図）
- ・［建屋］　※
  建屋ごとに簡易点検を一覧表示します。
- ・［フロア］　※
  フロアごとに簡易点検を一覧表表示します。
- ・［テナント］　※
  テナントごとに簡易点検を一覧表示します。
- ・［エリア］　※
  エリアごとに簡易点検を一覧表示します。

(カ) ［機器全体表示］ボタン
　指定物件に登録されている機器を全て一覧表示し、点検を開始することができます。

(キ)簡易点一覧
　系統名、メーカー名、形名、機器登録台数、そのうち未点検台数、NG 台数の表示をします。

④ 簡易点検一覧から点検が必要な機器を押すと、選択された機器に対して簡易点検を行えます。
⇒９－１５、簡易点検参照

※(オ)について以下に表示例を記載します。

(オ)建屋表示

(オ)フロア表示

(オ)テナント表示

(オ)テナント表示

(カ)機器全体表示　・・・　物件に紐づいている機器をすべて表示します。

９－１５、簡易点検登録方法

簡易点検を行います。

① 簡易点検一覧から、［系統表示］など表示グループからの機器選択、または［機器全体表示］を押すことで、簡易点検登録画面を開きます。

② ［点検者］欄に点検者を入力します。

③ 設置機器ごとに、点検項目が［OK］［NG］［未検査］どの状態にあるか、１つずつチェックします。

※表示機器すべてが点検項目 OK であれば、［全て OK］ボタンを押すことで、表示機器すべてに OK が設定されます。

④ 点検終了後、［確定］ボタンを押すことで、点検内容が登録されます。

⑤　登録されると簡易点検一覧に戻ります。

⑥　未点検、NG 覧の台数が、簡易点検登録により変わります。

⑦　また、簡易点検：前回日付に登録日がスタンプされます。

９－１６、簡易報告書詳細登録

９－１７、報告書一覧

冷媒漏洩、修理、定期点検を指定期間内検索、または簡易点検リストを出力する、報告書登録を行います。

① 物件一覧から物件を選択し、［点検・修理履歴］ボタンを押します。

② 報告書一覧画面が開きます。

③ 検索条件として確認したい期間を指定します。

④ 以下の確認したい項目にチェックをつけて［検索］ボタンを押して内容を確認します。（複数選択可）

☑冷媒漏洩　☑修理　☑定期点検

⑤ のように、検索結果が表示されます。

⑥ 詳細確認するには、作業日の欄を押します。登録内容が確認できます。

⑦ 添付ファイル内容を確認するには 1 2 それぞれを押すことで内容確認できます。

９－１８、冷媒漏えい点検記録簿の登録

点検記録簿登録は以下のようになります。

① 物件一覧から物件を選択し、［点検・修理履歴］ボタンを押します。

② 報告書一覧画面が開きます。

③ ［報告書登録］ボタンを押して、点検・修理記録画面を開きます。

④　点検・修理記録画面の構成について説明します。

(ア) 点検機器の選択
　　登録済みの機器一覧から選択をします。

(イ) 報告書種類の選択
　　修理・設備　か　定期点検かを選択します。

(ウ) 作業日
　　作業日を入力します。

(エ) 整備・修理内容
　　内容を入力します。

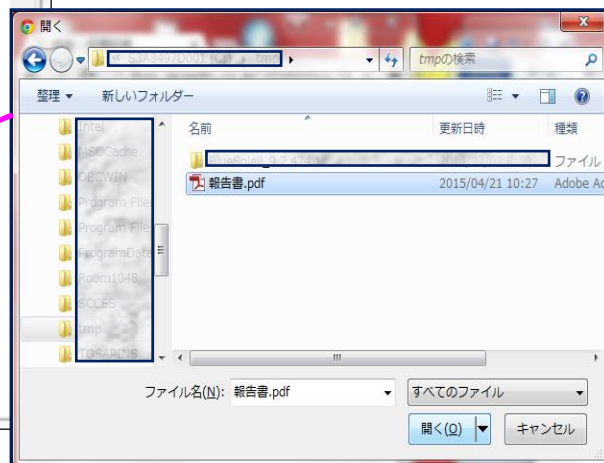
(オ) 作業者名
　　作業者名を入力します。

(カ) 充填・回収業者名、登録番号
　　業者名と登録番号を入力します。

(キ) 冷媒量
- 種類･･･冷媒種類を選択
- 標準量
- 設置時追加量
- 回収量①
- 充填量②
- 漏えい量②－①･･･自動計算

(ク) 備考
　　備考があれば入力します。

(ケ) ファイル選択、削除
　　ファイルを添付します。
　　または添付されているファイルを削除します。

⑤　上記入力後、［登録］ボタンを押して登録します。

９－１９、冷媒漏えい点検記録簿の修正

登録済み点検簿の修正を行います、

①　物件一覧から物件を選択し、［点検・修理履歴］ボタンを押します。

②　報告書一覧画面が開きます。

③　修正したい報告書の期間を指定し、修正したい報告書を☑し、［検索］ボタンを押します。

④　報告書一覧の修正したい報告書を押し、点検・修理記録画面を開きます。

⑤　内容を修正し、［登録］ボタンを押して、登録します。